

令和 8 年度第 1 回石川県医療計画推進委員会 議事要旨

1 開催方式：書面協議

2 協議期間：令和 8 年 7 月 1 日（水）～ 7 月 23 日（木）

3 委員 23 名

飯利 邦洋、石川 光良、石野 洋、大野 秀棋、大黒 正志、大畠 秀信、岡田 俊英、
神野 正博、北村 立、小林 千鶴、近藤 裕成、阪上 学、真田 弘美、内藤 暢茂、
中森 慶滋、能木場 由紀子、橋本 英樹、前 哲雄、松原 拓郎、村山 卓、安田 健二、
吉崎 智一、餘助 幸一

4 議事概要

第 8 次石川県医療計画の中間評価・見直しの方向性について

5 委員からの意見

【薬局・薬剤師】

○災害時のみならず人口減少・医療従事者不足が進む地域において、地域住民への医薬品の安定供給という責務を担う薬局・薬剤師を地域医療提供体制の重要な構成要素として明確に位置付け、医療計画に明記してほしい。具体的には、下記のとおり。

- ・オンライン服薬指導、遠隔での薬学的管理や多職種連携など ICT を活用した薬局機能の充実
- ・地域の薬局間連携による医薬品供給体制の強化
- ・災害時の医薬品供給体制の整備と、平時からの運用体制の検討
- ・在宅医療や避難所支援における薬剤師の役割の明確化

○能登地域では人口減少や高齢化がさらに進行すると予想されることから、医療機関のみならず薬局も含めた地域全体の連携体制を構築し、ICT や DX を活用した持続可能な医療提供体制を推進していくことが重要。

○人口減少地域においては、医療資源を個別に増やす発想だけではなく、医療・薬局・訪問看護・介護・ICT・AI 等を有機的に連携させた新たな地域医療提供体制を構築するという視点を、今後の医療計画の見直し及び地域医療構想の検討で、反映することを期待する。

【救急・急性期拠点】

○国の「新たな地域医療構想策定ガイドライン」の発出を受け、救急車に関する指標を、軽症救急と重症救急の搬送先などより病院の機能分化の検証が反映しやすいものの検討をしてほしい。

○新たな地域医療構想は、2028 年までに急性期拠点機能病院を明確にすることを求めており、第 8 次医療計画との整合性を図るインデックスの設定をすべき。

【医療従事者の確保】

○人口減少時代に向けて、医師、看護師だけではなく、他の医療従事者の養成・確保の目標値も考慮してほしい。